

◎所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本  
国とスウェーデンとの間の条約に関する日本国政府とスウェーデン政府  
との間の交換公文

(略称) スウェーデンとの租税(所得) 条約に関する取極

平成 十一年 二月 十九日 ストックホルムで  
平成 十一年 二月 十九日 効力発生  
平成 十一年十一月二十九日 告示

(外務省告示第四八五号)

目 次

ページ

スウェーデン側書簡	一九九一
1 議定書により改正された条約第四条1に関する了解	一九九一
2 議定書により改正された条約第六条2に関する了解	一九九一
日本側書簡	一九九二

(所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国とスウェーデンとの間の条約に関する日本国政府とスウェーデン政府との間の交換公文)

(スウェーデン側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本官は、千九百八十三年一月二十一日にストックホルムで署名された所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のためのスウェーデンと日本国との間の条約(以下「条約」という)並びに本日署名された同条約を改正する議定書(以下「議定書」という)に言及することにも、スウェーデン政府と日本国政府との間で到達した次の了解をスウェーデン政府に代わって確認する光栄を有します。

1 議定書により改正された条約の第四条1に関し、「一方の締約国の居住者」には、当該締約国並びにその地方自治体及び特別の法人を含むことが了解される。

2 議定書により改正された条約の第六条2に関し、「不動産」には、建物を含むことが了解される。

本官は、更に、貴官が前記の了解を日本国政府に代わって確認されることを要請する光栄を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに貴官に向かって敬意を表します。

千九百九十九年二月十九日にストックホルムで

スウェーデン

大蔵省次官 リル・ユングレン・レンベリイ

在スウェーデン

日本国臨時代理大使 多賀敏行殿

スウェーデンとの租税(所得)条約に関する取極

(Swedish Note)

Stockholm, February 19, 1999

Sir,

I have the honour to refer to the Convention between Sweden and Japan for the avoidance of double taxation and the prevention of fiscal evasion with respect to taxes on income signed at Stockholm on January 21, 1983 (hereinafter referred to as "the Convention"), and to the Protocol amending the said Convention which was signed today (hereinafter referred to as "the Protocol") and to confirm, on behalf of the Government of Sweden, the following understanding reached between the Government of Sweden and the Government of Japan:

1. With reference to paragraph 1 of Article 4 of the Convention amended by the Protocol, it is understood that the term "resident of a Contracting State" includes that Contracting State itself and any local authority and statutory body thereof.

2. With reference to paragraph 2 of Article 6 of the Convention amended by the Protocol, it is understood that the term "immovable property" always includes a building.

I have further the honour to request you to be good enough to confirm the foregoing understanding on behalf of your Government.

I avail myself of this opportunity to extend to you the assurances of my highest consideration.

(Signed) Lil Junggren Lönnberg  
State Secretary  
Ministry of Finance of Sweden

Mr. Toshiyuki Taga  
Chargé d'Affaires ad interim  
of Japan  
to Sweden

スウェーデンとの租税（所得）条約に関する取極

（日本側書簡）

（訳文）

書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの貴官の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

（スウェーデン側書簡）

本官は、更に、貴官の書簡に述べられた了解を日本国政府に代わって確認する光栄を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに貴官に向かって敬意を表します。

千九百九十九年二月十九日にストックホルムで

在スウェーデン

日本国臨時代理大使 多賀敏行

スウェーデン

大蔵省次官 リル・ユングレン・レンヘリイ殿

一九九二

（Japanese Note）

Stockholm, February 19, 1999

Madam,

I have the honour to acknowledge the receipt of your Note of today's date which reads as follows:

“（Swedish Note）”

I have further the honour to confirm the understanding contained in your Note, on behalf of the Government of Japan.

I avail myself of this opportunity to extend to you the assurances of my highest consideration.

(Signed) Toshiyuki Taga  
Chargé d'Affaires ad interim  
of Japan  
to Sweden

Mrs. Lil Ljunggren Lönnberg  
State Secretary  
Ministry of Finance of Sweden

(参考)

この取極は、平成十一年二月十九日に署名されたスウェーデンとの租税（所得）条約改正議定書（本平成十一年二国間条約集参照）によって改正された昭和五十八年一月二十一日に署名されたスウェーデンとの租税（所得）条約（昭和五十八年二国間条約集参照）の第四条1及び第六条2の規定に関する了解を両政府間で確認したものである。